



よこはま保健医療プラン 2018

～2025年への医療提供体制確保に向けて～



平成30(2018)年3月
横浜市

はじめに

～よこはま保健医療プラン2018策定にあたって～



本市の医療政策は、方面別に整備を進めてきた地域中核病院構想をはじめ、地域の特徴や課題をきめ細やかに捉え、独自の施策展開を進めてまいりました。直近の計画期間であります平成25年度からの5か年の間にも、「横浜市がん撲滅対策推進条例」の制定を機とした総合的ながん対策の推進や、従来の取組から対象年齢の拡大・24時間化を図った救急相談センター「#7119」の事業化、横浜市医師会との協働で進めてまいりました「在宅医療連携拠点」の18区整備など、様々な施策が具体化し、着実に成果につながっていると感じています。

この度、新たに「よこはま保健医療プラン2018」を策定しました。団塊の世代がすべて75歳以上になり、医療・介護需要が急激に高まる、いわゆる「2025年問題」を目前に控え、急増する医療需要に対し、必要な時に必要な医療を提供できるよう、病床機能の確保や在宅医療の充実、医療人材の確保・養成等、様々な角度から必要な施策を講じてまいります。また、ICTやAI、IoT、医療ビッグデータ等、先端技術も積極的に取り入れながら、よりよい医療提供体制を築いてまいります。

計画期間であるこの6年の間に、本市は人口減少社会へ局面が移ってまいります。地域医療に求められる姿も、「治す医療」から「治し、支える医療」へと移っていく中で、限りある医療・介護資源を効率的・効果的に活用し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「地域包括ケアシステムの構築」を、力強く進めてまいります。子どもから高齢者まで市民の誰もが将来にわたり安心・安全に横浜で暮らし続けられるよう、また医療関係者の皆様とともにより効率的で質の高い医療を提供し続けることができるよう、その道しるべとして本計画を皆様と共有できたら幸いです。

計画の策定に当たっては、横浜市保健医療協議会及びよこはま保健医療プラン策定検討部会の委員の皆様にご議論いただいたことはもとより、パブリックコメントをはじめ、様々な場面において市民や関係者の皆様からご意見・ご提案をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。本計画の実現に向け、引き続きご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年3月

横浜市長 林 文子

I プランの基本的な考え方	1
1 計画策定の趣旨と位置付け	2
(1) 計画策定の趣旨	2
(2) 計画の位置付け	2
(3) 計画の期間	3
(4) 計画への市民意見の反映	3
(5) プランの推進に当たって～市民・サービス提供者・行政の役割分担と協力関係の構築～	3
2 基本理念	5
II 横浜市の保健医療の現状	7
1 地勢と交通	8
(1) 地勢と交通	8
(2) 交通機関の状況	8
(3) 地理的状況	8
(4) 生活圏	8
2 人口構造	9
(1) 人口・世帯数	9
(2) 年齢3区分別人口	10
(3) 高齢化の進展	11
3 人口動態	12
(1) 出生数	12
(2) 死亡数・死亡率	12
(3) 平均寿命	14
4 市民の受療状況	17
(1) 入院・外来患者数	17
(2) 患者の受療状況	18
(3) 病床利用率	26
(4) 平均在院日数	27
5 保健医療圏と基準病床	28
(1) 保健医療圏	28
(2) 基準病床	30
6 横浜市の医療提供体制	32
(1) 横浜市内の病院、診療所、歯科診療所、薬局、助産所	32
(2) 横浜市内の病床種別ごとの病床整備状況	32
(3) 人口10万対病床数と病床稼働状況	33
(4) 市内医療機関の病床規模別整備状況	33
(5) 医療従事者の状況	34
7 市民の生活習慣と生活習慣病の状況	39
(1) 生活習慣	39
(2) 生活習慣病	39
III 横浜市の保健医療の目指す姿『2025年に向けた医療提供体制の構築』	41
1 横浜市の医療提供体制と横浜型地域包括ケアシステムの構築	42
(1) 市立・市大・地域中核病院等を基幹とする医療提供体制の整備	42
(2) 医療需要等の将来推計（神奈川県地域医療構想ほか）	49
(3) 2025年に向けた医療提供体制の構築と横浜型地域包括ケアシステムの構築	52
2 2025年に向けた医療提供体制の構築＜地域医療構想の具現化＞	54
(1) 将来において不足する病床機能の確保及び連携体制の構築	54
(2) 地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実	58
(3) 将来の医療提供体制を支える医療従事者等の確保・養成	66
3 患者中心の安全で質の高い医療を提供する体制の確保	69
(1) 医療安全対策の推進	69
(2) 医療ビッグデータを活用したエビデンス（根拠）に基づく施策の推進	75
(3) 医療機能に関する情報提供の推進	76
(4) 国際化に対応した医療の提供体制整備	79
4 横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた介護等との連携	82

IV 主要な疾病（5疾病）ごとの切れ目ない保健医療連携体制の構築 87

1	がん	88
	(1)がんの予防	93
	(2)がんの早期発見	95
	(3)がん医療	98
	(4)相談支援・情報提供	106
	(5)がんと共に生きる	108
	(6)がん登録・がん研究	111
2	脳卒中	114
	(1)予防啓発	116
	(2)救急医療提供体制	118
	(3)急性期医療	122
	(4)急性期以後の医療（回復期～維持期）	126
3	心筋梗塞等の心血管疾患	128
	(1)予防啓発	130
	(2)救急医療提供体制	131
	(3)急性期以後の医療（回復期～維持期）	134
4	糖尿病	136
	(1)予防啓発	138
	(2)医療提供体制	140
5	精神疾患	143
	(1)精神科救急	145
	(2)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	148
	(3)アルコールや薬物、ギャンブル等による依存症対策及び自殺対策の推進	150

V 主要な事業（4事業）ごとの医療体制の充実・強化 153

1	救急医療	154
	(1)初期救急医療体制の充実	156
	(2)二次・三次救急医療体制の充実	159
2	災害時における医療	163
3	周産期医療（周産期救急医療を含む。）	168
4	小児医療（小児救急医療を含む。）	174

VI 主要な保健医療施策の推進 185

1	感染症対策	186
	(1)感染症対策全般	186
	(2)結核対策	192
	(3)エイズ対策	194
	(4)予防接種	195
	(5)新型インフルエンザ対策	198
	(6)肝炎対策	199
	(7)衛生研究所	200
	(8)市民病院における対応	201
2	難病対策	202
3	アレルギー疾患対策	205
4	認知症疾患対策	209
5	障害児・者の保健医療	217
	(1)医療提供体制の充実	217
	(2)リハビリテーションの充実	219
	(3)重症心身障害児・者への対応	220
6	歯科口腔保健医療	223
7	生活習慣病予防の推進（第2期健康横浜21の推進）	228

VII 計画の進行管理等 235

(1)計画	236
(2)評価	238
(3)計画の変更	238
よこはま保健医療プラン2018施策目標集	239

参考資料 267